

2026年3月期の業績に関する説明資料

株式会社コロワイド
(証券コード 7616)

2026年5月

COLOWIDE

- I. 業績ハイライト
- II. 活動トピックス
- III. 26年3月期 決算概要
- IV. 27年3月期 業績予想

Ⅰ. 業績ハイライト

業績ハイライト

2026年3月期 実績

期末店舗数 **2,633店舗** (直営：1,501店舗、FC：1,132店舗)

- レストラン 2,402店舗
- 居酒屋 231店舗

売上収益 **3,000億90百万円**

- 既存店前年比：101.8%

事業利益 **125億27百万円**
EBITDA **209億88百万円**



地域別 業績概要

2026年3月期 実績

(単位：百万円、店)

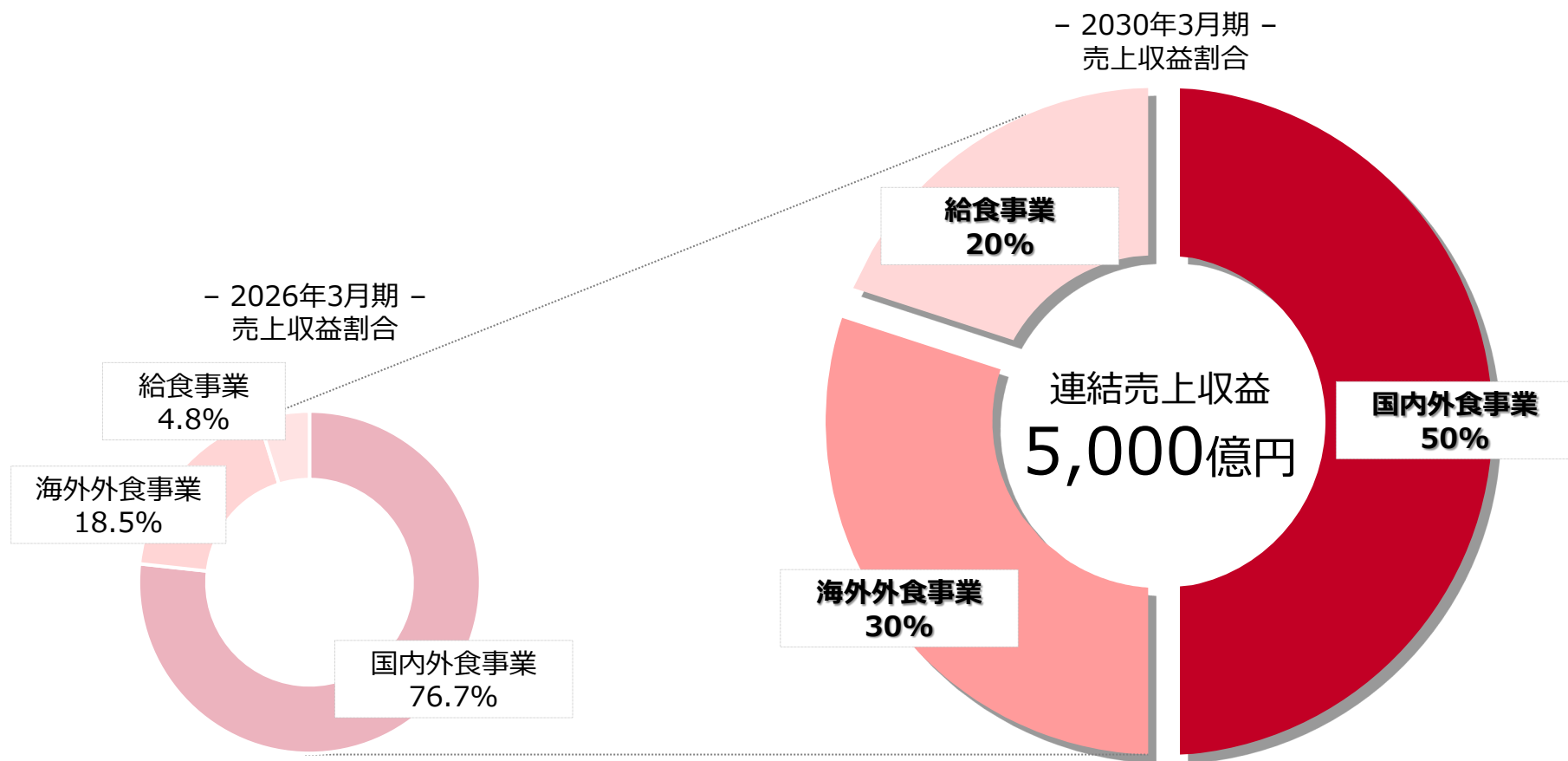
		2025年3月期		2026年3月期	前年差
国内	売上収益	236,405	▶	244,631	+8,226
	事業利益	6,683		7,996	+1,312
	店舗数	2,197		2,213	+16
北米	売上収益	17,448	▶	19,033	+1,586
	事業利益	985		401	△583
	店舗数	73		73	±0
アジア (中東含む)	売上収益	15,303	▶	18,079	+2,776
	事業利益	1,637		1,866	+228
	店舗数	316		328	+12
オセアニア (10か月連結)	売上収益	—	▶	18,346	+18,346
	事業利益	—		2,265	+2,265
	店舗数	—		19	+19

II. 活動トピックス

COLOWIDE Vision 2030

国内外食事業を事業基盤としつつも、マーケットの拡大が見込まれる海外外食事業及び給食事業（病院・介護施設）の成長を通じて、2030年3月期に連結売上収益5,000億円の達成を目指す

連結売上収益目標



中期経営計画の進捗状況

事業別の方針に対しての進捗

国内外食事業

- 定期的なメディア露出や各種キャンペーンを通じた来店促進と満足度向上の取り組みを実施
- 調達環境の変化や物流課題に対応した仕組みの構築により、グループ各社の競争力を強化
- カフェチェーンとして全国で565店舗を展開するC-United(株)の全株式を取得（後発事象）
※2026年4月1日取得

海外外食事業

- 高品質の商品や洗練された空間・サービスを提供する、オセアニア地域No.1のステーキレストランチェーン Seagrass Holdco Pty Ltd. の全株式を取得 ※2025年6月2日取得
- 既存事業の収益力向上に加え、新たな地域や新業態の出店等の取り組みを実施

給食事業

- グループ内の給食事業を(株)ニフスを中心に再編し、収益構造の改善と更なる業容拡大へ
- 完全調理品と手作りを組み合わせた競争力のある献立を開発し、利用者の体験価値を向上

サステナビリティ

- 食品の安全管理の取り組みを認証する規格である「JFS規格」の認証取得を推進
- 地域・社会への貢献のため、地方自治体との連携や地域イベントへの取り組みを実施

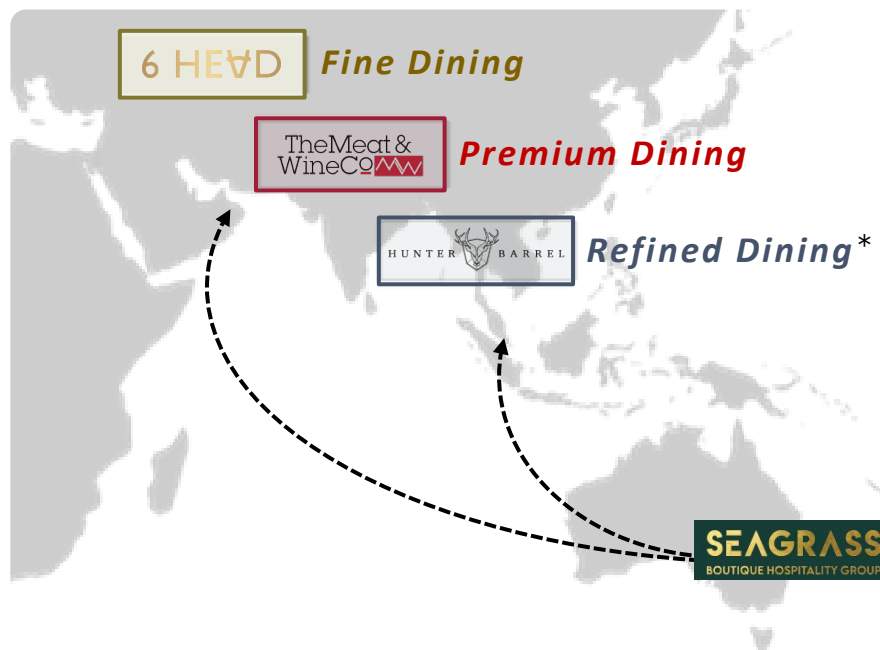
オーストラリア及びUAEでステーキレストラン事業を営む Seagrass Holdco Pty Ltd. を完全子会社化

- ・当社グループが既に進出しているアジア諸国及び中東における同社の展開を強力にサポートし新規出店を促進
- ・当社グループにおける豪州産牛肉のサプライチェーン網構築による将来の流通収益強化を目指す

今後の展開イメージ

※店舗数は2026年3月末時点

当社グループがノウハウを所有するアジア諸国 及び中東における出店を力強くサポート



■ 6 HEAD (2店舗)

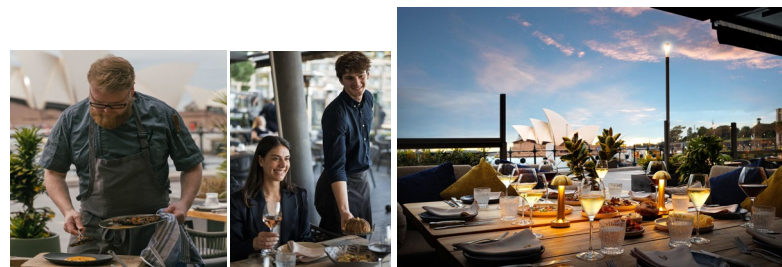
・2019年に誕生した最高品質のステーキと極上のダイニング体験で、贅沢な大人のひとときを叶えるスーパープレミアムステーキハウス

■ The Meat & Wine Co (13店舗)

・2000年創業のプレミアムステーキハウス
アフリカテイストの洗練された空間で、厳選素材の熟成ステーキと多彩な上質ワインを提供

■ HUNTER & BARREL (6店舗)

・2015年誕生のカジュアルステーキハウス
炭火で焼く肉料理と樽熟成ワインを楽しめる居心地の良いフルサービス空間を提供



*Refined Dining (リファインド・ダイニング) : ファインダイニングほどフォーマルではない一方で、カジュアルダイニングよりも品質やダイニング体験を重視し、ドレスコード、価格帯、サービス水準において「ちょうどよい」洗練度合いを備えたダイニングスタイル

M&A（後発事象）

「珈琲館」「カフェ・ベローチェ」「カフェ・ド・クリエ」の3業態を中心として、日本全国でカフェ事業を営むC-United(株)を完全子会社化（取得日：2026年4月1日、店舗数：565店舗）

今後の展開イメージ



カフェ市場における一層の成長に加え、当社グループが有する「チーズガーデン」をはじめとする複数のスイーツブランド製品の販売による売上拡大や、立地開発、FC開拓力の強化、仕入・物流費用の低減などのグループシナジーを活かした活動により、更なる事業価値向上を目指す



1970年の創業以来、“一杯のコーヒーに心をこめて。”という経営ポリシーの下、オーダーを受けてから一杯ずつ丁寧に淹れる本格派の珈琲を提供しています。フルサービス型のカフェです。



1986年の創業以来、おひとりおひとりに寄り添った接客を目指し、スピーディーな商品提供と気持ちの良いサービスを心掛けています。セルフサービス型のカフェです。



1994年の創業以来、“一杯のしあわせ”からはじまる“いっぱいしあわせ”というコンセプトの下、バラエティ豊富なメニューを提供しています。セルフサービス型のカフェです。

国内外食事業

レイズインターナショナル

- 中心販売価格帯は据え置きつつ、顧客満足度向上を目的としたグランドメニュー変更を実施



- 定期的なメディア露出や様々なファン層を狙ったコラボ企画、フェアメニュー等により、認知拡大・来店動機を促進



- フードコート向け業態である「牛角焼肉食堂」は国内で89店舗



※店舗数は2026年3月末時点

アトム

- 主力業態「ステーキ宮」では、業態と同じ栃木県出身タレント井上咲楽さんを起用した新TVCMを実施



- 競争環境が激化している焼肉業態の「カルビ大将」では国産牛食べ放題などの集客メニュー企画を実施



- 順調に業績が推移するグルメ廻転寿司「にぎりの徳兵衛」では、旬の味覚を打ち出した期間限定メニューが好評



国内外食事業

カッパ・クリエイト

- 平日を中心とした集客強化のため導入している「食べ放題」メニューの平日価格や税込90円メニューが好評



- 旬の食材を打ち出した限定メニューや季節のイベント需要に合わせたメニュー企画を通じ、多様なニーズに対応



- 人気コンテンツや食の名店などとのコラボキャンペーンにより、ファン層を通じた認知拡大や新規来店の機会を促進



大戸屋ホールディングス

- TVCMやトレインビジョンを通じたメディア露出の強化や人気スポーツアニメとのコラボレーション企画を実施



- 季節食材などを活用した期間限定メニューや「大戸屋・定食の日」に合わせた特別メニュー販売を実施



- 公式アプリの顧客体験価値の向上を目的として、ポイントランクプログラム「大戸屋POINT+」を新たに導入



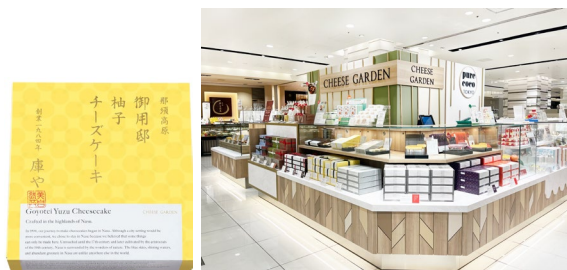
国内外食事業

フレッシュネス、カフェ・スイーツ

- フレッシュネスバーガーでは、カフェ需要の獲得施策を実施



- チーズガーデン及びクリオロでは、季節商品の展開により売上を拡大



- シルスマリアのバレンタイン催事が好調で過去最高売上



コロワイドダイニング

- 店舗の接客提案力向上により、ビジネスモデルを改善



- LINE会員やインバウンド獲得などの客数増加施策を実施



- 町中華業態「甘太郎食堂」など、新たな取り組みを開始



海外外食事業

既存エリア（北米・アジア・中東）

- 牛角は米国での出店に加え、メキシコにも初出店



・牛角 Mexico City（メキシコ）※FC

- アジア諸国では牛角及びその派生業態、かつぱ寿司の出店に加え、大戸屋をフィリピンにも出店



・牛角焼肉食堂
竹北遠百店（台湾）

・大戸屋（フィリピン）※FC
Grand Hyatt Residences - 2

- 中東では「GYU BOSS」に加え、「牛角」1号店も出店




・牛角 Palm Jumeirah Mall（UAE）

新規エリア（オセアニア）

- ステーキレストランチェーンSeagrass Holdco Pty Ltd.の全株式を取得後、更に豪州に2店舗出店
また1店舗当たりの売上規模が大きくグループ業績に貢献

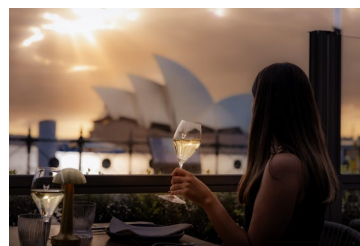
店舗別年間売上ベスト3*

 6 HEAD
- The Rocks NSW 約31.4億円

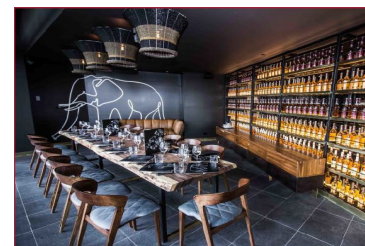
 The Meat & Wine Co
- Barangaroo NSW 約21.5億円

 The Meat & Wine Co
- Southbank VIC 約21.5億円

*店舗売上ランキングは2025年4月～2026年3月実績
期中オープン店舗は除く、1AUD=110円（概算値）



・6 HEAD - The Rocks NSW



・The Meat & Wine Co – Barangaroo

コロワイドMD

- 物価高騰への対応のため、調達の効率化や付加価値が高い食材の計画的な導入を推進



・(株)ベジフルファームをはじめとした協力農家との提携

- 調達及び物流網の整備により更なる最適化を推進しており、配送センターは11か所に集約

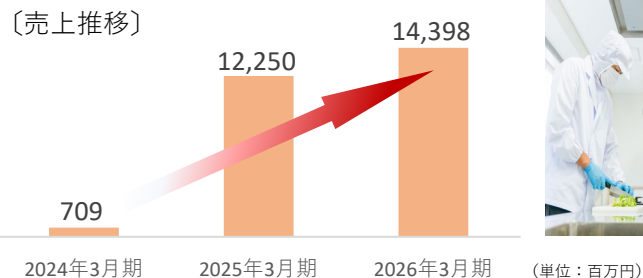


- 牛角やステーキ宮などの肉加工をはじめとした商品の内製化を推進し、店舗原価の低減と工数削減に貢献



給食事業

- フードサービスカンパニーとしての優位性を活かした提案力により、業容を拡大するとともに、収益構造を改善



- 北海道から九州まで全国各地にヘルスケア施設を中心に契約拠点を展開しており、グループインフラの活用により原価高騰に対応しつつ、利用者の体験価値向上を推進



— 契約拠点数 —

病院施設	77拠点
介護施設	309拠点
事業所	82拠点
その他	41拠点
合計	509拠点

※2026年3月末時点で契約中の拠点数

サステナビリティ推進

活動概要

地球環境への貢献

・コロナイドMDが管轄する全国の工場や物流を中心に、温室効果ガス排出量及び廃棄物排出量の低減、配送効率の向上を推進。店舗運営においてもフードロス削減を強化



食の安全・ 安心の提供

・食品の安全管理の取り組みをコロナイドMD中心に推進しており、グループ主力の神奈川工場及び栃木工場においては「JFS-B Plus」の認証を取得



働く仲間の成長と 多様性の尊重

・「健康経営優良法人認定制度」の大規模法人部門において(株)コロナイドとして3年連続での認定されており同時にグループ子会社8社を其々の部門で認定



地域・社会への貢献

・宮城県名取市との包括連携協定締結による連携や(株)アトムが創業の地である福井で地元スポーツクラブとのパートナーシップ契約を通じた地域の活性化への貢献



経営基盤の強化






・東証が進める有価証券報告書の株主総会前提出を実施。また英文開示義務化に沿った有価証券報告書や総会資料も含むIR資料の開示を実施



III. 26年3月期 決算概要

業態別の店舗数

2026年3月期 実績

業態名		主要ブランド	直営店舗数 (全体に占める割合)		直営店 + FC店舗数 (全体に占める割合)	
レストラン	焼肉 しゃぶしゃぶ	<ul style="list-style-type: none"> 牛角 カルビ大将 しゃぶしゃぶ温野菜 	435店舗 (29.0%)	86.1%	1,147店舗 (43.6%)	91.2%
	定食	<ul style="list-style-type: none"> 大戸屋 	163店舗 (10.9%)		455店舗 (17.3%)	
	回転寿司	<ul style="list-style-type: none"> かつぱ寿司 にぎりの徳兵衛 	354店舗 (23.6%)		361店舗 (13.7%)	
	ステーキ	<ul style="list-style-type: none"> ステーキ 宮 The Meat & Wine Co 他 	129店舗 (8.6%)		129店舗 (4.9%)	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> フレッシュネスバーガー チーズガーデン 他 	211店舗 (14.1%)		310店舗 (11.8%)	
居酒屋	<ul style="list-style-type: none"> 手作り居酒屋 甘太郎 北の味紀行と地酒 北海道 居酒屋 土間土間 他 	209店舗 13.9%	231店舗 8.8%			
			合計 1,501店舗		合計 2,633店舗	

※店舗数は2026年3月末時点

出退店及び店舗改装の状況

セグメント毎の状況

(単位：店)

会社名	2025年 3月末	出店	グループ間			2026年 3月末	業態転換	店舗改装
			閉店	譲受・譲渡	新規連結			
レイズインターナショナル	272	61	21	△3	309	5	9	
アトム	238	3	4		237	3	12	
直 営 カッパ・クリエイト	298	3		1	302	1	22	
大戸屋	148	13	6	2	157	2	6	
フレッシュネス	72	4	6		70		1	
その他	258	10	9		267	13	2	
国内 計	1,286	94	46		1,342	24	52	
海外	138	15	13		159		11	
直営店 計	1,424	109	59	0	1,501	24	63	
F 国内	911	41	84		871	1		
C 海外	251	30	20		261	3		
F C店 計	1,162	71	104	0	1,132	4	0	
合計	2,586	180	163	0	2,633	28	63	

※店舗数は2026年3月末時点 ※店舗改装については大型改装のみ

連結貸借対照表

2026年3月期 実績

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2025年3月末			2026年3月末			
	金額	金額	増減額	金額	金額	増減額	
流動資産	95,631	91,878	△3,753	流動負債	93,776	106,551	12,775
現預金	71,537	63,191	△8,345	営業債務及び その他債務	26,665	29,694	3,029
営業債権及び その他の債権	15,512	18,022	2,511	短期借入	33,971	38,275	4,304
棚卸資産	4,349	5,900	1,552	短期リース負債	14,770	16,582	1,812
その他	4,234	4,764	530	その他	18,369	21,999	3,630
非流動資産	216,595	259,053	42,458	非流動負債	131,342	150,785	19,443
有形固定資産	52,883	59,767	6,884	長期借入	95,345	107,515	12,170
使用権資産	24,690	28,357	3,666	長期リース負債	19,081	23,981	4,900
のれん	91,877	120,823	28,946	その他	16,916	19,288	2,372
その他金融資産	20,433	21,124	691	負債合計	225,118	257,336	32,218
その他	26,711	28,981	2,271	資本合計	87,108	93,596	6,487
資産合計	312,226	350,931	38,705	負債・資本合計	312,226	350,931	38,705

◆連結資本合計比率：32.5% (資本合計 / (資産合計 - 現預金)) ◆親会社所有者帰属持分比率：24.0%

連結損益計算書

2026年3月期 実績

(単位：百万円)

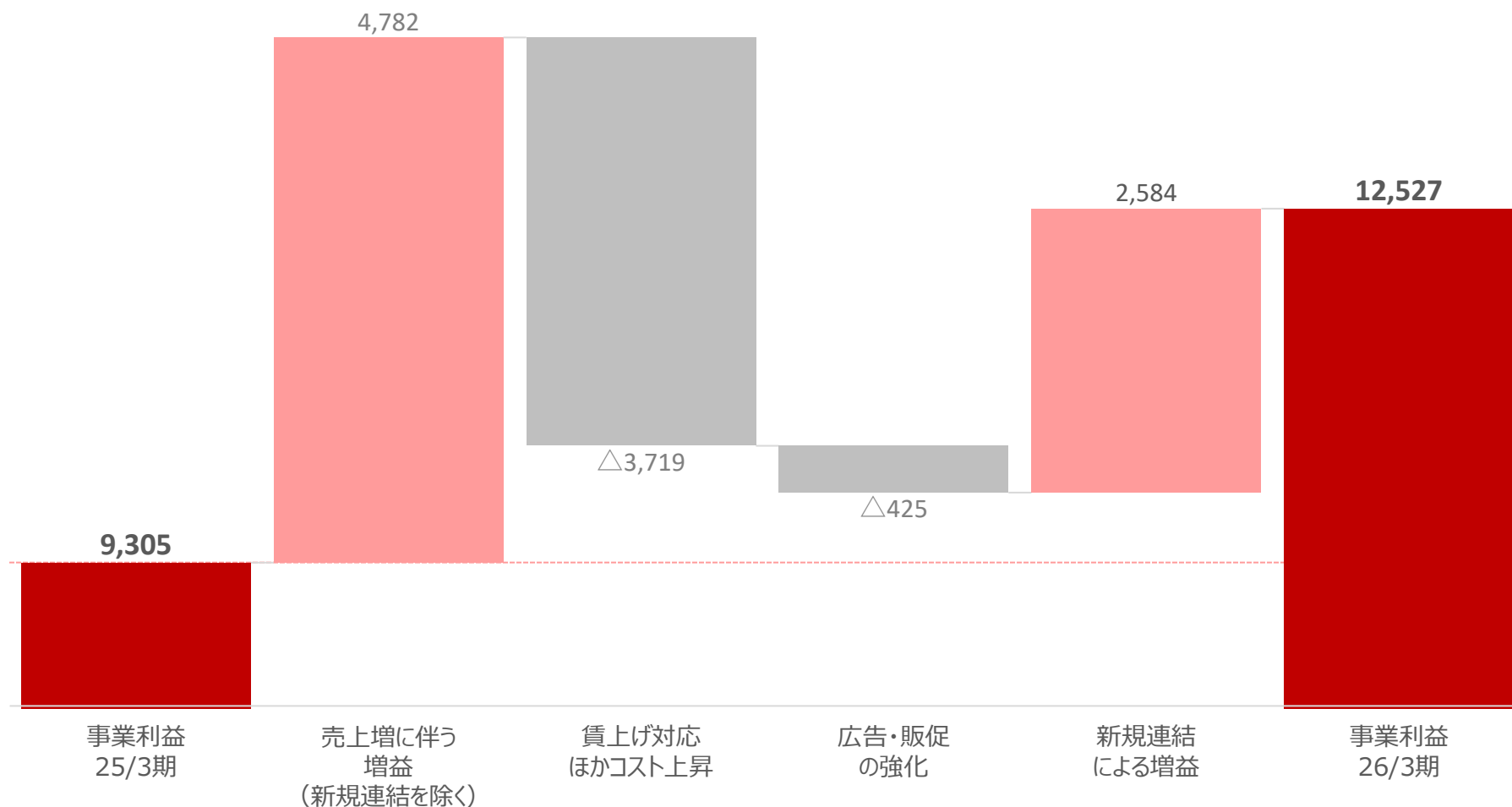
	2025年3月期		2026年3月期		
	金額	売上構成比	金額	売上構成比	前年比
売上収益	269,156	-	300,090	-	111.5%
売上総利益	156,766	58.2%	178,745	59.6%	114.0%
販売費及び一般管理費	147,462	54.8%	166,218	55.4%	112.7%
事業利益*	9,305	3.5%	12,527	4.2%	134.6%
その他営業収益	2,635	1.0%	1,175	0.4%	44.6%
その他営業費用	4,228	1.6%	4,295	1.4%	101.6%
I F R S 営業利益	7,712	2.9%	9,407	3.1%	122.0%
当期利益	2,255	0.8%	1,713	0.6%	76.0%
親会社に帰属する当期利益	1,249	0.5%	2,233	0.7%	178.7%

* 事業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

事業利益の変動要因

前年同期比較における増減（IFRS）

（単位：百万円）



主要子会社別 業績概要

報告セグメントの状況 (IFRS)

(単位：百万円)

	レイズ インターナショナル 連結		アトム		カッパ・クワイエット 連結		大戸屋 連結		Seagrass 連結		コロワイドMD	
	金額	売上 構成比	金額	売上 構成比	金額	売上 構成比	金額	売上 構成比	金額	売上 構成比	金額	売上 構成比
売上収益	92,647	-	30,434	-	73,193	-	37,017	-	20,041	-	101,268	-
売上総利益	51,049	55.1%	18,876	62.0%	37,781	51.6%	20,607	55.7%	14,488	72.3%	6,991	6.9%
販売費及び 一般管理費	46,268	49.9%	18,852	61.9%	37,432	51.1%	18,822	50.8%	11,905	59.4%	1,908	1.9%
事業利益*	4,781	5.2%	24	0.1%	349	0.5%	1,785	4.8%	2,584	12.9%	5,083	5.0%
その他 営業収益	451	0.5%	156	0.5%	291	0.4%	157	0.4%	41	0.2%	361	0.4%
その他 営業費用	1,778	1.9%	1,008	3.3%	895	1.2%	232	0.6%	42	0.2%	276	0.3%
IFRS 営業利益	3,454	3.7%	△828	△2.7%	△255	△0.3%	1,709	4.6%	2,583	12.9%	5,168	5.1%

* 事業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

IV. 27年3月期 業績予想

連結業績予想

2027年3月期 通期見通し

(単位：百万円)

	2026年3月期		2027年3月期 業績予想		
	金額	売上構成比	金額	売上構成比	前年比
売上収益	300,090	-	351,642	-	117.2%
売上総利益	178,745	59.6%	215,791	61.4%	120.7%
販売費及び一般管理費	166,218	55.4%	199,754	56.8%	120.2%
事業利益*	12,527	4.2%	16,038	4.6%	128.0%
その他営業収益	1,175	0.4%	713	0.2%	60.6%
その他営業費用	4,295	1.4%	2,999	0.9%	69.8%
I F R S 営業利益	9,407	3.1%	13,751	3.9%	146.2%
当期利益	1,713	0.6%	3,982	1.1%	232.5%
親会社に帰属する当期利益	2,233	0.7%	2,670	0.8%	119.6%

※為替レート=150円/ドルにて想定

* 事業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

主要子会社別 業績予想

報告セグメントの予想 (IFRS)

(単位：百万円)

	レイズ インターナショナル 連結		アトム		カッパ・クリエイト 連結		大戸屋 連結		Seagrass 連結		C-United		コロワイドMD	
	金額	売上 構成比	金額	売上 構成比	金額	売上 構成比	金額	売上 構成比	金額	売上 構成比	金額	売上 構成比	金額	売上 構成比
売上収益	94,741	-	31,776	-	79,840	-	38,001	-	26,833	-	39,388	-	105,966	-
売上総利益	52,797	55.7%	19,449	61.2%	40,352	50.5%	21,580	56.8%	19,425	72.4%	29,232	74.2%	6,914	6.5%
販売費 及び一般 管理費	46,409	49.0%	18,406	57.9%	39,257	49.2%	19,732	51.9%	15,911	59.3%	25,920	65.8%	1,920	1.8%
事業利益*	6,388	6.7%	1,043	3.3%	1,095	1.4%	1,848	4.9%	3,514	13.1%	3,313	8.4%	4,994	4.7%
その他 営業収益	44	0.0%	183	0.6%	261	0.3%	1	0.0%	-	0.0%	468	1.2%	269	0.3%
その他 営業費用	1,125	1.2%	623	2.0%	418	0.5%	50	0.1%	-	0.0%	356	0.9%	235	0.2%
IFRS 営業利益	5,307	5.6%	603	1.9%	937	1.2%	1,799	4.7%	3,514	13.1%	3,425	8.7%	5,028	4.7%

* 事業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

セグメント別 取組み概要

レイズ インターナショナル

- ・定期的なメディア露出による認知拡大と、世の中の関心事に合わせたキャンペーンで来店促進
- ・価格感度が高い顧客層に向けた「低価格の食べ放題」や、「アルコールが楽しめるセット」を活用

アトム

- ・地域ブランドとしての認知を活かしたキャンペーン施策や、メディア露出により販売力を強化

カッパ・クリエイト

- ・都市型モデルのブラッシュアップ及び人口動態に応じた出店戦略により、店舗網を最適化
- ・海外ではインドネシアのモールを中心とした出店モデルを、韓国をはじめ他の地域でも展開

大戸屋 ホールディングス

- ・高付加価値メニューによる単価UPにより売上高を向上させ、原価・人件費の高騰に対応

C-United

- ・客層や客単価の異なる3業態を、立地・オケージョンの使い分け及びドミナントでの出店を推進
- ・グループが有するスイーツブランドとの連携や、立地情報の共有化などにより事業価値を向上

コロワイドMD

- ・工場の稼働率向上により収益力を高めるとともに、「JFS規格」認証の活用で食の安全を管理

海外外食事業

- ・プレミアムステーキ業態は豪州と中東で新規出店を進めており、新たな地域への展開も準備
- ・牛角とその派生業態、かっぱ寿司、大戸屋の出店も推進

給食事業

- ・顧客の多様なニーズに応える運営モデルの構築により、営業力を高め業容拡大を推進
- ・今後の業容拡大を見据えた人材育成を推進するための教育プログラムにより、体制を強化



注1) 本資料は、すべて連結の数値を使用しております (IFRS)

注2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

<本資料の取り扱いに関して>

本資料は、著作権法及び不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、コロワイドグループから許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。

本文記載の社名・製品名・ロゴはコロワイドグループ各社の商標または登録商標です。